

回覧

小中一貫教育目標『志を持ち たくましく生きる人』
学校教育目標『夢に向かい 心豊かに 自ら学ぶ』



沼津市立愛鷹中学校

学校だより

NO.9

令和5年11月29日

○ ～半袖ポロシャツについて 訂正～

鷹根 No.8 にて体育着として半袖（白、紺）ポロシャツの導入を予定しているとお知らせしました。現在、紺の半袖ポロシャツについては体育着素材のものがなく体育着には向かない素材のため、体育着ではなく、夏服時のYシャツ、ブラウスの代わりとして令和6年より導入することとします。白の半袖ポロシャツは予定通り体育着として令和6年4月より導入します。紺の半袖ポロシャツについては令和6年度に入りましたら、白のポロシャツ（長袖、半袖）については、令和6年2月頃にそれぞれ注文のご案内をする予定です。

○ ～12月～

今年の干支は？ ふと思い返してみました。皆さんは、すぐに答えられますか？ 私は職員室にいる先生方に思わず聞いてしまったほど頓着なく過ごしてきたことに気づきました。昨年末に年賀状を書いている時や、年末年始のテレビCMなどで見ていたときには認識していましたが、1年もたたない間に今年の干支を忘れていました。今年の干支をそれだけ意識してなかった表れです。生徒の皆さんも保護者の皆さんも、新年を迎えたとき、こんなことを頑張ろうとか、こんな1年にしたいという思いをもち、1年間の目標を立てたことと思います。どんな目標を立てたか覚えていますか？ 日々の生活に忙殺され、忘れてしまった人も多いのではないのでしょうか？

しかし、「安心してください。あと1ヶ月ありますよ！」 “あと1ヶ月しかない”と思うか、“あと1ヶ月ある”と思うか、その心持ちにもよりますが、もう1度思い返し、少しでも目標に近づけるように努力することは、必ず来年につながると思います。ぜひともあと1ヶ月あるとポジティブに考え、12月を新年に立てた目標達成のために頑張り、令和5年を締めくくってほしいと思います。ちなみに、今年の干支は「うさぎ」、来年は「たつ」です。

○ ～1年認知症サポーター養成講座～



愛鷹地区社協やキャラバンメイト、あしたか地域包括センターの方々など、地域の皆さんによる認知症サポーター養成講座が行われました。この講座は、沼津市内でもっとも長く行われている中学生向けの認知症についての理解を深める講座であるとのことでした。



認知症に対する正しい知識や自分たちがこれからできることを考える目的で実施され、講師として参加して下さった地域の皆さんによるわかりやすいお話や楽しい寸劇、グループワークなどが行われました。最後に、講座を受講した証として”オレンジリング”が贈呈され、恒例の記念写真の撮影をしました。明るく、活発な雰囲気からも、今日の講座が生徒にとって充実した時間であったことがうかがえました。

○ ～2年調理実習～

コロナ禍の中でできなかった調理実習を4年ぶりに再開しました。2年生の家庭科では、肉、魚、野菜、卵などを使った調理実習が計画されています。今回は肉料理、「豚肉の生姜焼き」です。ピーマンとパプリカの炒め物、粉ふきいもをつけ合わせにして、すりおろしたしょうがとみりん、醤油でタレをつくりました。野菜を包丁でカット、じゃがいもをゆでる、カットした野菜を炒める、タレで味付けした肉を焼くなどの工程を班員と協力して取り組みました。最近ではIHの家庭も多く、ガスコンロの火加減に苦労している生徒もいましたが、おいしそうな生姜焼きができました。進んで実習に取り組む姿から、調理の楽しさも味わうことができました。



○ ～3年進路説明会～



進路決定に向けてや受験の流れ、諸注意について説明がありました。今年度から公立高校の合格発表は、校内に合格者の受験番号が掲示されずインターネット上での発表になります。また、昨年までは合格者は再登校し、合格通知等の書類を担任から受け取りましたが、合格通知等の書類は合格者が直接高校へ取りに行きます。私立高校については昨年と変更はありません。

「進路」とは、読んで字のごとく「進む路」です。「進路を決める」とは「自分の生き方を考え、進む路を決めること」です。

「目的意識をもっている人は高校生活を頑張れる」と高等学校の先生からよく聞きます。目的意識をもつためには、自分の生き方、なりたい自分がはっきりしていることです。希望する高校に合格するのは、ゴールではなく、通過点です。その先にある自分の将来の夢の実現や、なりたい自分になることがゴールに近づくことです。高校には入試があるように、同じような学力の人が集まる場所です。したがってそれぞれの高校が求める学力があります。さらに、入試とは入学者選抜試験のことです。選抜されるということは、自分を評価されるということです。確かな学力を身につけるために努力したり、日常生活や学校生活を充実させることも、自分の生き方につながります。自分の将来夢や、なりたい自分を考えていくことは進路を決める上でとても大切なことです。御家庭でもお子さんと将来について話をさせていただきたいと思えます。

○ ～挑戦～

先日、仙台育英高校野球部の須江 航 監督の講演を聴きました。とても印象に残ったので著書を買いました。「挑戦」について、次のように書かれていたので紹介します。

「失敗があるということはなにかチャレンジをしているということです。やるべきことを積み上げていった先の挑戦は、たとえうまくいかなかったとしても、失敗の理由を検証することで学ぶことができます。そこには伸びしろしかありません。人生はずっとトライ・アンド・エラーの繰り返しです。」

(『伝わる言葉。失敗から学んだ言葉たち』仙台育英学園高等学校硬式野球部監督 須江 航 著 より引用)

4月から生徒には「挑戦する」ことを伝えてきました。挑戦して、失敗することから多くのことを学びます。ただの失敗では意味がありません。挑戦の先にある失敗は必ず人としての成長につながり、次の挑戦につながります。